

周防大島町教育長・ 教育委員会委員の任命



田中勝志教育委員会委員

令和7年9月2日に開催された「第3回周防大島町議会定例会」において、星野朋啓氏（神浦）の教育長の任命と、長年にわたり教育委員会委員として町教育行政にご尽力いただきました大沼伸彦氏（伊保田）の後任として、新たに、田中勝志氏（外入）の教育委員会委員の任命が同意されました。

● 教育長（再任） 【任期】

令和7年11月27日

～令和10年11月26日

● 教育委員（新任） 【任期】

令和7年11月27日

～令和11年11月26日



▲活躍する周防大島クラブ

周防大島町の部活動改革 「学校部活動が地域に移ります！」

1

令和8年度より、町内の2つの中学校における5つの部活動が地域へ展開し、地域クラブとして活動を開始します。

この取組は、少子高齢化社会に対応するため、国全体で準備を進めてきたものです。少子化は本町でも進んでおり、部活動において団体競技の編成が困難になるなどの状況が生じています。こうした状況を受けて、

軟式野球部、バレー部、バスケットボール部の団体種目が地域クラブに移行し、さらに個人での出場が可能な剣道部と陸上部も地域クラブとして活動します。

国は、部活動改革の目的を「将来にわたって全ての子どもたちが、継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保すること」と定めています。

● 費用の負担が受益者負担と公的支援になります

これまで、部活動の費用として、保護者の皆さまには月額500円程度を学校へ納入していました。これらの費用は、ボールなどの用具代、大会参加費、協会登録料などに

ています。本町においても、この国の方針をふまえるとともに、『人づくり・地域づくり』の二本柱を基盤に取り組を進めています。

今回の部活動改革で大きく変わる点は、次の2つです。

● 指導者が学校の教員から地域の人になります

これまでの部活動は、教員が指導を担うことを前提に運営されており、教員の献身的な指導によって支えられてきました。しかし、教員の働き方改革や指導における専門性の観点から、これまでの体制には限界があると言われています。一方、地域に目を向けると、多様な経験をもつ人々や専門的な知見をもつ人がおられ、より豊かで刺激的な学びの機会を子どもたちに提供することが可能になります。

● 費用の負担が受益者負担と公的支援になります

これまで、部活動の費用として、保護者の皆さまには月額500円程度を学校へ納入していました。これらの費用は、ボールなどの用具代、大会参加費、協会登録料などに

充てられており、その他の運営費は周防大島町からの公的支援により支えられてきました。

地域クラブへの移行後は、これまで学校で支払っていた費用に加え、総合保険への加入費や地域の指導者への謝金なども必要となります。これら

の費用については、現在、国においてその目安が検討されており、本町においても國の方針を参考しながら、適切な金額を決定します。

また、保護者の皆さまのご負担ができる限り軽減できるよう、本町では昨年度に引き続き、[※]ガバメント・クラウドファンディング（GCF）を実施しています。今後、企業からの寄附金の募集などを企画していき、周防大島町の子どもたちが充実した活動を続けられるよう、町全体で支援の輪を広げてまいります。

※プロジェクト名【瀬戸内のハワイ周防大島活性化プロジェクト】島の子どもたちにスポーツ・文化芸能に携われる機会を！第2弾！

問い合わせ

教育委員会学校教育課

☎ 0820 (78) 2204